

Real

一般社団法人二科会写真部会報
NIKAKAI ASSOCIATION OF PHOTOGRAPHERS

2016.07

Vol. 27



第38回富山支部公募展●富山支部大賞・富山県知事賞「春を待つ」光岡初代



第21回長野支部公募展【長野支部大賞】
「メルヘンの城」 佐々木雅江

マレーシアで撮影しました。海拔 1300 メートルのリゾート地です。

お祈りの声で目が覚めると、まだ辺りは薄暗く、ぼんやり外の景色を眺めていました。森の中から神秘的な空気が流れてくるのを感じ、見ると雲海の上に可愛なお城が浮かんでいました。

小さいころに読んだ、お城に閉じ込められたお姫様が、いつか王子さまが助けに来てくれるのを待っている、そんな物語を思い浮かべました。この時間、この場所にいた私は、何と幸せなのでしょう。

写真のタイトルをつけるとき、迷わず「メルヘンの城」にしました。

その作品が「長野支部大賞」をいただきました。思ってもいなかったで、びっくりしました。私にとって最高の喜びです。これを機会に、いっそう頑張りたいと思っています。



第32回石川支部公募展【石川支部賞】
「風 踊る」 中口明美

今回、思いがけなく「石川支部賞」をいただき、感激しております。

女性の視線の先には祭り囃子が聞こえ、山車がありました。心なしかウキウキした雰囲気を感じ、とっさにカメラを向けました。風で犬の毛が逆立ち、女性のスカートがはためき、その向うに男の子が走って行く姿があり、偶然にも風の流れがうまく表現できた一枚です。

女性の方には、作品として出品することを了承いただきました。

良き指導者、仲間たちにも恵まれて、一瞬の出会いを大事に、これからも頑張って参りたいと思います。

■表紙写真

第38回富山支部公募展【富山支部大賞・富山県知事賞】
「春を待つ」 光岡初代

富山支部が開催した冬の撮影会に参加した時の作品です。和倉牡蠣養殖場の撮影が終わっての帰路、いつも通る山越え付近で、ちょうどいい具合に雪が降り出しました。竹やぶと降雪の情景を撮っていると、近くの人家から犬の鳴き声が聞こえ、振り返ると降雪の中に犬がいました。背景には大根が干してありました。元来、動物が好きなので、夢中でシャッターを切っていました。

この作品が幸運にも「富山支部大賞」に選ばれ、本当にびっくりしています。

●審査員選評

当然、個々にあるものが生活感と言うことになるのですが、犬が雪を被って佇んでいる、雪国の日常的な光景がこの写真の魅力になっています。犬の表情がとても気に入りました。すべての生活に絡む雪の日のワンショット。いい場所、いい場面を捉えていると思います。この犬は可愛らしいけど、何かしら可哀想な哀れさがある、そんな表情が一番気に入る、大賞に選びました。

(蜂須賀秀紀会員)



第39回東北地区公募展【東北地区大賞】

「出番前」佐藤 彰

毎年9月に秋田県山本郡三種町森岳で地歌舞伎が行われており、今回の作品は、その中の「子供白浪五人男」に出演する小学生たちです。

出番前、化粧の白塗りが終わり、歌舞伎会館前の神社で休憩している所を撮影しました。

一瞬間の間でしたが西日が差し込んで、最初は「邪魔になるかなあー」と思いながらも、シャッターを押しました。後で見ると、その光がスポットライトのようになっていて驚きました。

子供たちの歌舞伎は本当に素晴らしく、びっくりしました。この地歌舞伎には、もう17年間も毎年通い続けており、これからも楽しみながら撮りたいと思っています。

●審査員選評

出番前の少年たちの記念撮影である。中央にどっしりと身がまえて隈取をした少年が目を引き、5人の少年たちを束ねている。

何よりもこの作品の素晴らしさを決定づけたのは、木洩れ日のシチュエーションの設定である。背景の社殿の佇まい、風に揺れる御幣の動きなど、作者の緻密な気配りも読みとれる。（飛塚英寿名誉会員）



第35回九州・沖縄地区公募展【大賞】

「老いても輝くりやカー人生」平田 昇

審査の先生から「写真はいいが、題名が長い。『生きる』でよい」と言われました。写真は邪魔物を切り取る、題名も同じと教えられました。定年時から生涯学習と定めて、見よう見まねで試行錯誤をしています。今後も人生の活力として、生涯の友として写真を愛し続けたいと思っています。

●審査員選評

そもそも目に見える映像は、光の強弱から始まり、色、形によって構成されている。しかし、平田さんの「大賞」作品では、これらの要因を無視し、ひたすら内面に迫っている。つまり、写真の王道をいく内容と言ってよい。

ただひたすら目の前に迫る老婆の姿を真っ向から捉えた、「写真とは何か。生きるとは何か」をよりリアルに表現した秀作だと思う。できれば、題名は

（高橋扶臣男名誉会員）

第39回愛知支部公募展

【愛知支部大賞】

「妙技」渡邊文男

日本ジェットスポーツ連盟のプロフリースタイラーである高須武寿選手の練習を撮影したものです。

この年、同選手はプロに昇格し、試合に備えてプロ仕様のマシン調整と持ち技の確認をしていました。通常、練習は新技開発などの場でもあり、カメラマンはもとより、観客など余人を嫌うのですが、永年の交流もあり、気持ちよく迎え入れていただきました。

「バレルロール」という、同選手の得意技を演技した瞬間を捉えました。

●審査員選評

水上バイクのフリースタイル競技の技「バレルロール」を捉えた作品で、黒い背景に円弧を描く水飛沫、浮かび上がる水上バイク、その水上バイクが水面に着水する寸前の瞬間を切りとったシャッターチャンスが素晴らしい。競技では撮影できないシチュエーションであり、演技者と作者との交流と努力がなし得た結果である。



第12期〜第13期の 新役員が選任され 新体制が発足

一般社団法人二科会写真部の理事任期満了に伴い、今年2月23日（火）に開催した春期定時会員会友総会において理事11名及び監事1名が選任されました。

同日、新理事による理事会を開催し、理事の互選によって代表理事を選出、新理事長が決定しました。

また後日、理事長によって常任理事2名が指名され、理事会の承認を得て就任し、今期の新体制が発足しました。



【理事長】

森井 禎紹（会員・兵庫支部）

1941年兵庫県三田市に生まれる。会社勤めの傍ら趣味で写真を始め、写真コンテストを主体に写真活動を行う。1991年に会社を退職し、プロ写真家として活動する。1974年二科会写真部展に初応募、入賞3回、入選8回。1986年会友推挙、1993年会員推挙、2011年から4年間常任理事を務める。2016年兵庫県文化功労の表彰を受ける。

創設63年目に新たな時代を迎え 未来へ向けて確実な前進を囑望

一般社団法人二科会写真部 理事長 森井 禎紹

今年4月14日に発生しました熊本地震では、甚大な被害に見舞われました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りし、被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日常へ復帰できますことを切に願います。

一般社団法人二科会写真部は九州全県に支部があり、特に被害が大きかった熊本支部及び大分支部の方々の安否が心配されました。住居などに被害を受けられた方はいらっしゃいますが、皆さんが無事であることの確認がとれ、ひとまず安堵いたしました。

さて、二科会写真部は、創設から63年間にわたり創立会員が先頭になって牽引されて来ました。その献身的な尽力によって、全国的な組織に発展しました。私たちはこれを受け継ぎ、更に発展した形で次世代へ繋ぐ使命を担っています。いっぽうで、創立会員の意向が会の運営に強く反映されてきたのは周知の通りで、理事会の機能が十分に発揮されていたとは言えません。そして昨年7月、大

竹省二理事長が他界されて創立会員が不在になった今、二科会写真部は事実上新たな時代を迎えることになりました。

今年2月23日開催の春期定時会員会友総会で定款の一部が改正され、理事の任期満了で新たな理事の選任がおこなわれました。さらに新理事による臨時理事会を開催し、理事の互選で代表理事選をおこないました。これは当会の長い歴史で初めての出来事でした。図らずも弱輩の私が代表理事に選ばれ、理事長に就任することになりました。

（二社）二科会写真部を円滑に運営するためには、理事会が適正に機能することがもつとも重要です。今後は理事会の合議制によって運営方針を決定します。春期定時会員会友総会において28年度の事業計画及び予算案が承認可決されました。この事業計画を実行するための懸案事項もいくつかありますが、まずは事業計画の一つ一つを着実に実行し、一歩の確実な前進が、会の未来へつながるものと確信します。そのために執行部

体制を整える必要があります。事業及び運営の業務分担を設け、それぞれに担当理事を置きます。担当理事は、業務内容を徹底的に精査して、「現状でいいのか」「無駄はないか」などを常に吟味しながら業務を遂行します。理事の方々にはいっそうの尽力をお願いする次第です。

当会は全国47都道府県に支部があります。各支部は、支部公募展や支部展、勉強会、撮影会など、それぞれ地域的な活動を活発におこなっています。支部の皆さんには、今後も地域とコミュニケーションしながら多方面との交流を深め、延いては地域文化の発展に貢献していただけることを切望します。

今年も「第101回二科展（第64回二科会写真部展）」が8月31日から東京の国立新美術館で開催されます。一般公募作品の入賞・入選作品も決まり、名誉会員、会員、会友の出品作品とともに展示されます。当会は美術団体である二科会の写真部として、全国の写真愛好家の期待に応えるように自負をもって一般公募を実施し、皆様に親しまれる展覧会を開催してまいります。平素より多大なご支援ご協力を賜っておりますご協賛団体様及びご協賛会社様には、引き続きご高配をお願い申し上げます。

最後になりますが、名誉会員、会員、会友、そして支部員方々のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。



【常任理事】

近藤 誠宏（会員・岐阜支部）

初入選は第14回展。会友推挙は第22回展でした。以後、在籍43年になり、名誉会員まであと8年。今75歳で、それまで生きていたいです。ずっと二科会写真部を見てきました。任意団体から法人団体となり、誰がための運営なのかを自問。和をもって尊しとす。



【理事】

川本 征紀（会員・愛媛支部）

二科を志し47年、その道のりは信頼と誇りに満ちていました。このDNAをつなぐ努力をしたい。



【理事】

市川 喜久雄（会員・愛知支部）

初応募から41年間、一度も休まず来られたことに感謝。今後は応募者のために役立ちたいと思う。



【理事】

徳永 美奈子（会員・福岡支部）

写真が何よりも好きな皆様と共に、よりよい二科会写真部となるよう考えてゆきたいと思っています。



【理事】

樋口 幸雄（会員・三重支部）

理事就任の話に困惑しましたが、理事の任期2年間、私なりに出来ることを提案してゆきたい。



【理事】

藤森 順治（会員・長野支部）

理事として二期目になり、新体制の中で、これからも二科会写真部発展のため頑張りたいと思う。



【理事】

秋田 隆司（会員・広島支部）

共に歩む写真人生、気持ちの心に通う映像を求めながら、公正無私の心で寄与すべく努力したい。



【理事】

鈴木 洋一（会員・秋田支部）

当会の発展のために問題点がなにかを検討し、改善の必要があれば、皆さんと共に努力します。



【理事】

佐藤 ちえ子（会員・山梨支部）

慣れないことばかりですが、風通しの良い理事会であり、皆様の意見反映に努力するつもりです。



【監事】

今井 寿雄（会員・埼玉支部）

監事は業務監査、会計監査を役目とします。会の運営が的確公正に進むよう、まず努力努力です。



【監事】

柳原 香（会員・兵庫支部）

二科会写真部発展のため少しでもお役に立てればと考えています。よろしくお願いいたします。



【事務局長】

片岡 順一（会員・神奈川支部）

新理事長を冠に理事会が一丸となり、将来的に揺るぎない魅力的で堅実な「会」にしたいと思う。



【出納役】

天内 紀元（会員・東京支部）

新体制で活動が始まり、出納役として事業計画で示した諸事業が停滞なく推進するようにしたい。

03 [秋田] 白瀑神社例大祭神輿の滝浴び

白装束の男たちが神輿を担ぎ、白瀑（しらたき）神社の裏手にある滝壺に飛び込み、掛け声に合わせて滝壺の中を幾度か回って境内へ戻ります。これを2回繰り返します。滝壺に飛び込む勇壮さと涼味あふれる光景は、全国でも珍しい風物詩となっています。

撮影するためには余裕をもって現地へ行き、2時間前には撮影ポイントにスタンバイしたいもの。事前に構想を練り、シャッターチャンスに備えます。

日程に余裕がある場合は、「秋田竿灯まつり」(8月3日～6日)や「湯沢市七夕絵どうろうまつり」(8月5日～7日)もお勧めです。

＜ガイド＝小野寺泰雄（秋田支部）＞

●撮影場所：秋田県山本郡八峰町八森・白瀑神社

●撮影日時：毎年8月1日13:00～

●アクセス：JR五能線「東八森駅」から徒歩約20分

●問合せ先：八峰町産業振興課（TEL：0185-76-4605）



白瀑神社例大祭神輿の滝浴び（撮影：小野寺泰雄）

04 [山形・宮城] 御釜の夜明け

蔵王連峰の御釜は、蔵王刈田岳・熊野岳・五色岳の3峰に抱かれた円形の火口湖で、五色沼とも呼ばれています。エメラルドグリーンの水をたたえた湖面は、荒々しい火口壁と対比して神秘的です。特に夜明けの湖面は刻一刻と彩りを変え、幻想的で素晴らしい表情を見せてくれます。

この幻想的な光景が見られるのは6月～9月で、撮影のためには現地に早朝5時頃から待機して、その瞬間を待ちます。

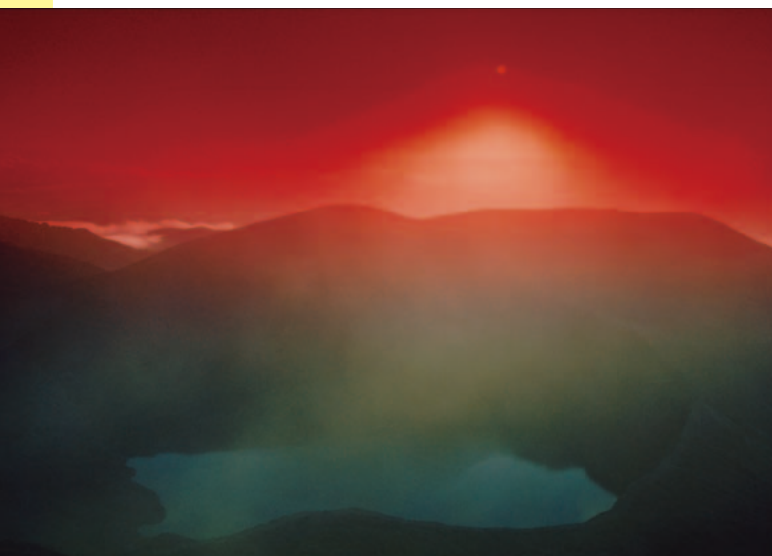
＜ガイド＝飛塚英寿（山形支部）＞

●撮影場所：蔵王刈田岳駐車場付近（蔵王エコライン）

●撮影時期：6～9月の早朝5:00～

●アクセス：宮城県、山形県両県から蔵王エコライン

●問合せ先：蔵王町観光案内所（TEL：0224-34-2725）



御釜の夜明け（撮影：飛塚英寿）

05 [宮城] 宮城蔵王キツネ村

宮城蔵王の麓に、キタキツネや銀キツネ、青ギツネ、プラチナギツネ、シャドーギツネ、十字ギツネの合計6種類のキツネ約100頭が大自然の森に放し飼いされている蔵王キツネ村があります。年中無休で大人も子供も楽しめるので近年は訪れる人も多く、園内ではキツネとの触れ合いも楽しめます。

ここでは、普段あまり見ることの少ないキツネの動きや表情など、自然に近い姿を撮影することができます。

＜ガイド＝笹川義信（宮城支部）＞

●撮影場所：白石市福岡八宮字川原子11-3 宮城蔵王キツネ村

●撮影時期：毛並みの美しい冬から春がお勧め

●アクセス：JR「白石蔵王駅」から車で約20分

●問合せ先：宮城蔵王キツネ村（TEL：0224-24-8812）



宮城蔵王キツネ村にて（撮影：笹川義信）

全国各地から寄せられた

“絶対オススメ!”の撮影地情報を紹介。

地元写真家ならではの撮影スポットと被写体、ライフワークとしているテーマなどなど…。

ぜひ新たなモチーフを求め撮影に出かけたい。

絶対オススメ!

撮影地GUIDE

01 [青森] 初冬の蔦沼と周辺の沼

青森の秋、紅葉といえば蔦沼と言われるくらい、被写体として人気があり、これまでに多くの作品が発表されています。が、ここでは、初冬まだ雪の少ない時期の蔦沼と、その周辺に点在する大小さまざまな沼と風景を紹介します。

蔦温泉前から沼めぐりの小路を左回りに辿ると、順に蔦沼、鏡沼、月沼、長沼、菅沼、瓢箪（ひょうたん）沼があります。初冬の積雪の少ない時期は水分の多い雪が立木に張り付き、その雪化粧が各沼の存在を引き立ててくれます。

＜ガイド＝慶長裕一（青森支部）＞

●撮影場所：青森県十和田市蔦温泉周辺

●撮影時期：初冬（12月頃）

●アクセス：JR「青森駅」から定期バス（十和田北線〔みずうみ号〕十和田湖行）

●問合せ先：蔦温泉（TEL：0176-74-2311）



初冬の蔦沼（撮影：慶長裕一）

02 [岩手] 盛岡舟っこ流し

毎年、藩政時代から伝わる盛岡の夏の風物詩「盛岡舟っこ流し」。先祖の霊を弔う盆行事です。

装飾された舟10隻以上が大勢の裸男たちに担がれ、北上川へ運ばれます。やがて舟に火が放され、夕闇の北上川へ流されます。舟には爆竹や花火が仕掛けられ、紅蓮の炎が川面に映し出される様は、じつに壮観です。

燃え上がる舟を撮るには望遠レンズが必要で、三脚も用意したい。仙北町側の川原が撮影のベストポジションです。

＜ガイド＝松島哲夫（岩手支部）＞

●撮影場所：盛岡市仙北町1丁目（北上川明治橋上流）

●撮影日時：毎年8月16日16:00～

●アクセス：JR「盛岡駅」から徒歩約25分。または岩手県交通「仙北町バス停」下車で2分

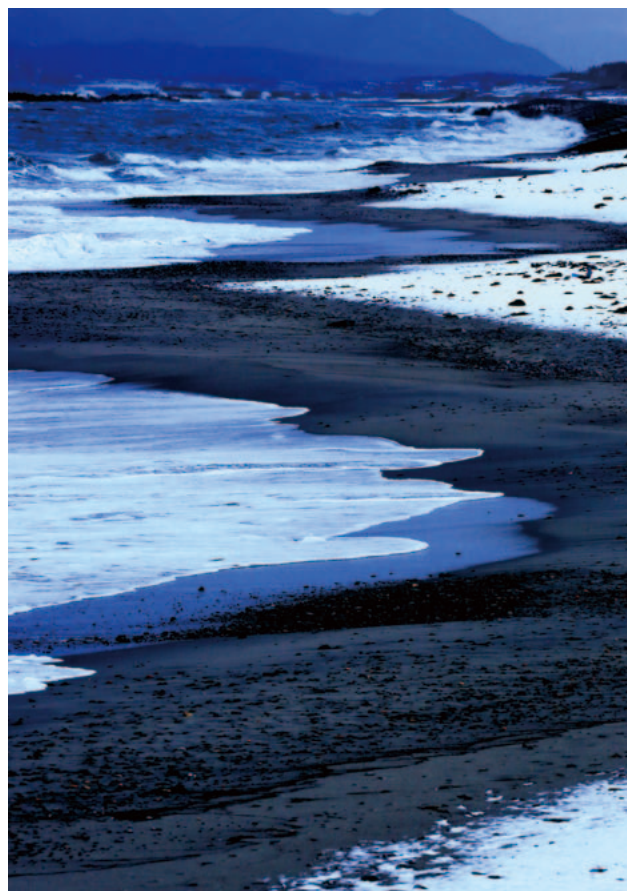
●問合せ先：盛岡観光コンベンション協会（TEL：019-604-3305）



盛岡舟っこ流し（撮影：松島哲夫）



越前七浦海岸（撮影：田村 勲）



中条地区海岸（撮影：田村 勲）

08 [新潟] 新潟の海岸風景

日本海沿いに長く伸びる新潟の海岸線は美しさが際立っていて、沖の彼方に佐渡島を望む雄大な風景を楽しめます。特に夕景には定評があり、「夕陽写真コンテスト」が毎年おこなわれています。

＜ガイド＝田村 勲（新潟支部）＞

【越後七浦海岸】

国道 402 号線「越後七浦シーサイドライン」は、新潟市角田浜から長岡市寺泊野積までの全長 14 キロの海岸道路で、奇岩や断崖など変化に富んだ景色が楽しめます。海岸から見る日本海の美しい夕日は格別です。

ここに点在する奇岩・怪石の「弁天岩」「立岩」は国の天然記念物に指定されていて、ここでしか見ることができない枕状溶岩です。

- 撮影場所：新潟市西蒲区角田浜から間瀬
- 撮影時期：四季を通じて撮影でき、特に日本海に沈む夕陽との組み合わせがポイント
- アクセス：JR 越後線「巻駅」よりバスで 30 分。北陸自動車道「巻潟東 I.C」より車で 40 分
- 問合せ先：新潟市西蒲区役所産業観光課（TEL：0256-72-8454）

【桃崎浜海岸】

新潟県胎内市の桃崎浜周辺には、海岸線に沿って漁師小屋が並んでいます。特に日本海の冬の情景の中に広がる寒々とした風景が、独特の雰囲気醸し出しています。

厳冬期の海岸線は、雪の白、波の形、海の色、光線など全てが撮影の素材になります。ただし、大変な寒さの中での撮影になりますので、十分な装備と細心な注意が求められます。

海岸と平行して走る国道 113 号線沿いに「はまなすの丘」があり、6 月になると可憐なハマナスの花の群生が見られます。

- 撮影場所：胎内市桃崎浜
- 撮影時期：冬の日本海にはドラマがあります
- アクセス：日本海沿岸道「中条 I.C」から日本海方向へ向かうと国道 113 号線に出る
- 問合せ先：胎内市観光協会（TEL：0254-47-2723）

06 [福島] 天空の二本松城址

室町幕府より奥州探題に任ぜられた畠山高国が塩沢・殿地が岡に最初の居を構えて地名を二本松と改称。7 代当主・二本松満泰が、この地に二本松城を築く。以降、時代が流れ幾多も城代が替わり、明治維新まで丹羽氏の居城でしたが、戊辰戦争で落城し、建物の多くが焼失しました。

二本松城は、二本松市街地の北に位置し、麓の居館と白旗が峰に築かれた城郭からなる梯郭式の平山城。霧にまつまると天空の城となり、別名、霞ヶ城、白旗城と呼ばれています。2007 年に二本松城跡として国の史跡に指定されました。

本丸跡からは、西に安達太良山と吾妻連峰、東に二本松城下町と阿武隈高原が望め、「霞ヶ城公園」として日本さくら名所 100 選に選定されています。

＜ガイド＝三浦照生（福島支部）＞

- 撮影場所：二本松市郭内「霧ヶ城公園」
- 撮影時期：初冬の霧が湧く早朝
- アクセス：東北自動車道「二本松 I.C」から 5 分。JR「二本松駅」から車で 10 分
- 問合せ先：二本松市観光振興係（TEL：0243-55-5122）



二本松城址（撮影：三浦照生）



能登島の秋祭り 上・獅子舞 下・馬踊り（撮影：大山善治）

07 [石川] 能登島の秋祭り

能登島は、古くから漁業や農業が行われていて、豊漁や豊作祈願の神事として、また地域住民の娯楽として秋祭りが受け継がれてきました。

能登島の夏祭り「向田の火祭」が有名ですが、能登島の祭りは秋に多く、9 月半ばから 10 月には毎日のように地区で祭りが行われます。秋祭りは、日本の古くからの素朴な祭りで、子供のころの故郷の祭りを想い出させる懐かしさがあります。

能登島の町内ごとに「にわか」と「獅子舞」が行われます。即興芸の「にわか」は、猫踊りや馬踊りといった風変わりな踊り、浄瑠璃の流れをくむ団七踊りがあります。その他に三番叟、武蔵と小次郎、斧などの武器で舞う獅子舞など演目は 6、7 種あり、それぞれの地域で伝承されていて一見の価値があります。＜ガイド＝土田貴夫（石川支部）＞

- 撮影場所：石川県能都島の各町内
- 撮影時期：毎年 9 月は第 3 土日曜日と最終土曜日、10 月 2 日～ 19 日まで各町内で行う
- アクセス：JR「七尾駅」・JR「和倉温泉駅」からは路線バス。能登空港から車で約 30 分
- 問合せ先：能登島観光協会（TEL：0767-84-1113）



祭典恒例芝居（撮影：照井四郎）



乙九日炎の祭典（撮影：宗岡泰昭）



雲海が美しい掛頭山（撮影宗岡泰昭）

11 [和歌山] 祭典恒例芝居

毎年10月なかばになると“トントコ、トントコ”とふれ太鼓の音が、コスモスの揺れる川沿いに響きわたります。250年の伝統を誇る「祭典恒例芝居」が、春日神社の境内で行われます。芝居は舞台設営から演出、照明、音響、床山、衣装、化粧まで、全て地元有志の手作りです。

太陽が西に傾くと、舞台裏はにわかに忙しくなり、境内に芝居ファンがやってきます。そして午後7時、村芝居が開幕。「三番奴」に始まり、「臉の母」でクライマックスを迎えて会場が盛り上がります。芝居が跳ねる頃にはあたりに寒気が迫り、秋の夜が更けて行きます。

＜ガイド＝照井四郎（和歌山支部）＞

- 撮影場所：田辺市上富田町市ノ瀬 春日神社 境内
- 撮影日時：2016年10月12日(水)・13日(木) 19:00～
- アクセス：JR紀勢本線「紀伊田辺駅」から車で約30分
- 問合せ先：上富田町観光協会 (TEL：0739-47-0550)

12 [広島] 乙九日炎の祭典

「乙九日（おとくんち）炎の祭典」は、北広島町の雄鹿原地区に伝わる、約400年以上の歴史がある幻想的な炎と光の祭りです。

松明が灯された約5キロにおよぶ松明ロードと松明行列が、雄鹿原地区を映し出します。神社では大松明奉納が行われます。

勇壮な鎧姿の武者行列と光に浮かぶ城岩など見所が多く、撮影が楽しめます。

なお、周辺の撮影スポットとして、晴れた日に雲海が美しい「掛頭山」、農家で栽培している「紅そば畑」、白イルカのいる「アクアス水族館」がお勧めです。

＜ガイド＝宗岡泰昭（広島支部）＞

- 撮影場所：広島県山県郡北広島町宮地亀山 亀山八幡神社周辺
- 撮影日時：2016年9月24日(土)15:30～21:30
- アクセス：中国自動車道「戸河内I.C.」から約40分（駐車場あり）
- 問合せ先：北広島町観光協会芸北支部 (TEL：0826-35-0888)



新湊曳山祭（撮影：朝倉隆文）



「日本のベニス」の風情が漂う内川運河（撮影：河上守也）

10 [滋賀] びわ湖花火大会

琵琶湖の夏の風物詩として人気の「びわ湖大花火大会」には35万人もの人出があります。琵琶湖の豊かな自然を背景にスターマインなど1万発の花火が打ち上げられ、湖畔から夜空に咲く花火の競演が堪能できます。

また、琵琶湖ホテルの窓や有料観覧席にある噴水の水面に映る花火の中に、観覧客がシルエットで浮かび上がる光景は、ここだけの魅力的な被写体です。

撮影の準備は明るい内に済ませ、夜のシャッターチャンス待ちます。

＜ガイド＝木村正司（滋賀支部）＞

- 撮影場所：大津湖岸なぎさ公園、有料観覧席（滋賀県営大津港）
- 撮影日時：2016年8月8日(月)19:30～20:30
小雨決行、荒天の場合は8月12日(金)に順延
- アクセス：JR琵琶湖線「大津駅」から徒歩15分
- 問合せ先：びわ湖大花火大会実行委員会事務局 (TEL：077-511-1530)

09 [富山] 新湊曳山祭と内川

放生津曳山祭は一般的に新湊曳山祭としてよく知られ、江戸時代中期から続く放生津八幡宮の秋季例大祭。10月1日は神輿渡御と曳山供奉があり、10月2日の本祭には放生津八幡宮において全国でも珍しい築山行事が行われます。富山県内最多の13本の曳山が、狭い街中を練り歩き、夜になると提灯山となり、とても美しく幻想的な雰囲気醸し出します。

内川は「日本のベニス」と評される美しい港町です。街中を流れる清らかな内川運河には個性的な10本の橋が架かっていて、小型船が行き交う光景は独特な情緒があります。

＜ガイド＝河上守也・朝倉隆文（富山支部）＞

- 撮影場所：射水市放生津山町新湊・放生津八幡宮
- 撮影日時：毎年10月1日・2日
- アクセス：あいの風とやま鉄道「高岡駅」から市内電車の万葉線で「中新湊駅」下車、徒歩10分
- 問合せ先：射水市観光協会 (TEL：0766-84-4649)



上・びわ湖花火大会
下・ホテルの窓に映る花火
(撮影：木村正司)



大東七夕まつり（撮影：佐々木 聡）

16 [香川] 屋島の夕景

源平合戦ゆかりの地として知られる屋島は、あちこちに展望台があり、「談古嶺」、「獅子の霊巖」、「遊鶴亭」は屋島三大展望台と呼ばれています。山上大駐車場から徒歩約 10 分の「獅子の霊巖」展望台は、瀬戸内の多島海の美しさを満喫できる随一の場所と言われています。

夕暮れになると瀬戸内の島々が赤く染まり、ここからの夕景は「日本の夕陽百選」に選定されています。さらに夕陽が沈むと高松港近辺を航行する船の航跡や高松市街のネオンが輝き、キラキラとした美しい夜景が展望できます。

＜ガイド＝安野文子（香川支部）＞

- 撮影場所：高松市屋島
- 撮影時期：四季折々それぞれに素晴らしい光景が展開
- アクセス：JR「高松駅」から車で約 20 分。
- 問合せ先：高松市創造都市推進局観光交流課
(TEL：087-839-2416)



四国カルスト（撮影：片岡省造）

15 [島根] 大東七夕まつり

8 月 6 日の夕方、大東町では「サーイサーイ、サイサイ、テンテコテンの七夕さん」と、元気な子供たちの声が聞こえてきます。浴衣やハッピーで着飾った子供たちが笹竹に短冊や提灯などの七夕飾りをつけ、お囃子とともに大提灯、山車が商店街を練り歩きます。

戦国時代の 1570 年代、七夕の夜に村人が笹竹の枝に短冊を飾り付けて平和の世を祝ったのが始まりと言われ、約 400 年の歴史があります。その風情は趣があり、人々を魅了します。

＜ガイド＝佐々木 聡（島根支部）＞

- 撮影場所：雲南市大東町大東
- 撮影日時：毎年 8 月 6 日 19：30 ～
- アクセス：JR「大東駅」から徒歩 15 分
- 問合せ先：大東七夕祭保存会事務局（TEL：0854-43-8164）



屋島からの夕景（撮影：安野文子）

17 [愛媛・高知] 四国カルスト

四国カルストは、愛媛県と高知県との県境に標高が約 1400 メートル、東西約 25 キロに広がり、日本三大カルスト台地の一つです。西から大野ヶ原、姫鶴平、五段高原、天狗高原と続くなだらかな高原は、夏は草に覆われた緑の大地、秋はススキが一面に広がり、四季折々の季節の花を楽しめます。カルスト台地特有の浸食作用で地表に露出した真っ白な岩肌の石灰岩が点在しています。

ここは花々を眺めながら、香り、光、音、風など、自然を感じることでできる最高のセラピー高原です。

＜ガイド＝片岡省造（愛媛支部）＞

- 撮影場所：四国カルスト台地（愛媛県と高知県の県境）
- 撮影時期：四季折々の撮影が楽しめる
- アクセス：松山から国道 33 号線→国道 440 号線（地芳道路）を通り、地芳峠から県道 383 号線
- 問合せ先：天狗荘（TEL：0889-62-3188）



広島平和記念公園 8 月 6 日（撮影：秋田隆司）

14 [鳥取] とっとり花回廊

「とっとり花回廊」は、雄大な大山の姿を借景とした日本最大級のフラワーパークです。一年中楽しめる大温室や展示館のほか、1 周 1 キロの屋根付き展望回廊があり、雨の日も傘をさすことなく回廊から四季折々の花が一望できます。

彼方に聳える伯耆富士とも呼ばれる大山を望遠レンズで引き寄せ、花とコラボした撮影も楽しめます。

園内には 220 種のチューリップや 190 種のバラがあり、フラワードームの洋ランも妖艶な姿を見せています。

自然の起伏や雑木林を活かした広大な園内では、花を見るだけでなく、花のある美しい自然環境と季節の移り変わりを味わうことができます。

夜になると広大な庭園に 14000 個ものイルミネーションが灯され、柔らかな光につつまれて幻想的なメルヘンの世界が出現します。

＜ガイド＝生田英明（鳥取支部）＞

- 撮影場所：鳥取県立「とっとり花回廊」
- 撮影時期：四季折々のモチーフを撮影
- アクセス：米子自動車道「溝口 I.C.」から 6 キロ（約 10 分）。JR「米子駅」から 15 キロ（駅から無料シャトルバス運行）
- 問合せ先：とっとり花回廊（TEL：0859-48-3030）

とっとり花回廊 上・春めく 下・ファンタジー（撮影：生田英明）

13 [広島] 広島平和記念公園

平和記念公園は、世界の恒久平和を願って爆心地に近いこの場所にあります。園内には、原爆投下当時の様子を展示した広島平和記念資料館、世界遺産に登録されている原爆ドームや原爆死没者慰霊碑、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館などがあります。平和への願いを込めて鳴らされる平和の鐘の音は、残したい日本の音風景 100 選にも選ばれています。

そして、毎年 8 月 6 日には平和記念式典が開催され、原爆が投下された午前 8 時 15 分に黙祷が捧げられます。普段とは異なる雰囲気、平和記念公園の意義を改めて感じさせてくれます。記念式典の前後は撮影が可能です。

＜ガイド＝秋田隆司（広島支部）＞

- 撮影場所：広島市中区 広島平和記念公園
- 撮影日時：毎年 8 月 6 日
- アクセス：広島駅前から広島電鉄電車「宮島口」「江波」方面行に乗りし「原爆ドーム前」下車
- 問合せ先：おしえてコールひろしま
(TEL：082-504-0822)





寺村「山の神大祭り」打ち上げ花火（撮影：楠本真大）



津野山古式神楽（諏訪神社）（撮影：入交貞悦）



熱気球世界選手権大会（撮影：北脇英雄）

21 〔愛媛〕寺村 山の神火祭り

寺村の山の神火祭りは、文政6年から受け継がれてきた、山の恵みと秋の豊作を祈願する伝統行事です。

夕刻になると町内に約5000灯の「オヒカリ」が灯され、六角山の麓には「山の神」の火文字が浮かび上がり、打ち上げ花火が、周囲の山に反響して轟き、山里の夜空を華麗に演出します。

花火の撮影は、打ち上げ場所の反対側の峰に登って俯瞰撮影することもでき、工夫次第でいろいろな撮影が楽しめます。

＜ガイド＝楠本真大（愛媛支部）＞

- 撮影場所：愛媛県喜多郡内子町寺村
- 撮影日時：毎年8月1日18：00～22：00
- アクセス：JR 予讃・内子線「内子駅」から車で約30分
- 問合せ先：内子町役場小田支所（TEL：0892-52-3111）

22 〔高知〕津野山古式神楽

津野山古式神楽の舞は、11の素面の舞と6つの面を付けての舞があり、舞い納めるには約8時間を要します。「土佐の神楽」の一つとして国の重要無形民俗文化財指定になっており、秋祭りに氏子が五穀豊穡、無病息災を祈願して奉納されます。夜通し行われる「夜通し神楽」も数年に一度見られます。

＜ガイド＝杉野節子（高知支部）＞

- 撮影場所：高知県高岡郡津野町
- 撮影日時：日程などは現地の問合せ先へ確認
- アクセス：須崎東I.Cから約1時間
- 問合せ先：津野町教育委員会（TEL：0889-62-2258）

23 〔佐賀〕熱気球世界選手権大会

1980年から佐賀市を中心に佐賀インターナショナルバルーンフェスタが開催されていて、特に今年は、19年ぶりにワールドカップに相当する熱気球世界選手権大会を招聘し、めったに見られない規模でバルーンフェスタが開催されます。大会が行われる場所は佐賀市嘉瀬川河川敷で、カラフルでダイナミックなバルーンの飛行をはじめ、早朝の出発準備から飛行までのさまざまな人の動き、大会を楽しむ観客の表情など、被写体は豊富です。

＜ガイド＝北脇英雄（福岡支部）＞

- 撮影場所：佐賀市嘉瀬川河川敷
- 撮影日時：2016年10月28日（金）～11月6日（日）
- アクセス：JR 長崎本線「バルーン佐賀駅」下車。佐賀市内からシャトルバスを運行
- 問合せ先：2016 佐賀熱気球世界選手権実行委員会（TEL：0952-29-9000）

18 〔愛媛〕霊峰石鎚山の初日の出

石鎚山は標高1982メートルで、西日本最高峰の山です。2016年元日の早朝、目の前に聳える天狗岳さえも見えない深い霧。霧の中でその瞬間を待ち続けましたが、周囲はあきらめムード。

しかし、日の出とともに霧が切れてきて、「わー凄い！」と歓喜の叫び声。目の前に広がる雲海、天狗岳を走る雲や霧氷を朝日が染め、幻想的な霊峰石鎚山の初日の出の瞬間でした。素晴らしい新年の幕開けでした。

＜ガイド＝福島 勲（愛媛支部）＞

- 撮影場所：石鎚山・弥山山頂
- 撮影日時：1月1日の日の出
- アクセス：石鎚神社中宮成就社から約3.5キロで弥山
- 問合せ先：石鎚登山ロープウェイ（TEL:0897-59-033）



元旦の霊峰石鎚山（天狗岳と初日の出）（撮影：福島 勲）

19 〔愛媛〕霊峰石鎚山の御山開き

毎年、石鎚山の御山開きが7月1日～10日に行われ、西日本各地から大勢の信者たちや登山者が訪れ、石鎚山は賑わいをみせます。

石鎚山は山岳信仰の山であり、日本百名山、日本百景、日本七霊山のひとつとされ、霊峰石鎚山とも呼ばれます。多くの信者が白装束で参拝に訪れる姿は神秘的で、霊山であることを意識させられます。

石鎚山は、スナップ派、風景派どちらにもお勧めの撮影地です。

＜ガイド＝一色龍太郎（愛媛支部）＞

- 撮影場所：石鎚山
- 撮影日時：毎年7月1日～10日
- アクセス：松山方面からは石鎚スカイラインで終点土小屋まで、ここから徒歩2～3時間
- 問合せ先：石鎚神社本社（TEL：0897-55-4044）



霊峰石鎚山の御山開き（撮影：一色龍太郎）

20 〔愛媛〕愛南町の秋祭り

愛媛県南宇和郡愛南町では、毎年11月3日（文化の日）に秋祭りを行います。町内各地区からいろいろな山車が出ますが、派手さはなく、素朴で親しみが持てます。

平城地区では、昼頃に御旅所で獅子が舞い、五鹿が踊り、牛鬼や神輿が練りを披露します。そして秋祭りのクライマックスは、八幡神社の境内で行われる奉納の練りで、大きな牛鬼、四つ太鼓、大天狗がぐるぐると回る姿は圧巻です。

＜ガイド＝宇都宮幸種（愛媛支部）＞

- 撮影場所：愛媛県南宇和郡愛南町
- 撮影日時：毎年11月3日（文化の日）
- アクセス：JR「宇和島駅」から宿毛方面行きバスで約1時間。土佐くろしお鉄道「宿毛駅」から宇和島方面行きバスで約30分
- 問合せ先：愛南町観光協会（TEL：0895-73-0444）



愛南町の秋祭り（撮影：宇都宮幸種）



一次審査風景



二次審査風景

「第64回二科会写真部展」一般公募部門の入賞・入選作品が決まる

2016年「第64回二科会写真部展」の一般公募部門は、「単写真部門」と「組写真部門」の2部門で募集し、3月1日（火）～7日（月）の7日間、応募作品の受け付けを行いました。

今年度の応募状況は、「単写真部門」が1925名・8940点、「組写真部門」が179名・462組、単写真と組写真の混合応募が684名・6449点で、昨年に比べ単写真は応募者・応募点数共に減少し、混合応募が応募者・応募点数共に増加し、組写真はほぼ横ばいでした。

「第64回展」一般公募部門の一次審査を4月7日（木）～10日（日）の4日間、東京・国立新美術館の審査室で行いました。審査員は、理事長及び常任理事を含む理事11人が務めました。

単写真及び組写真のそれぞれを4日間 にわたって個人別審査、ジャンル別審査を行い、「単写真部門」の入選内定者635名、「組写真部門」の入選内定者206名、合計841名を選出して一次審査は終了しました。

入選内定者には、展示パネルの制作を通知し、例年通り展示パネルによる二次

審査を6月9日（木）に行いました。理事長及び常任理事と、今年は県別番号偶数の支部からの代表21名が審査員を務めました。

はじめに「単写真部門」作品をジャンル別に審査し、入賞候補作品40点を選出。次に「組写真部門」をジャンル別に審査し、入賞候補作品30点を選出。更に両部門とも審査を重ね、それぞれ上位3賞候補として4作品まで絞り込みました。ここで両部門の上位3賞候補作品を同時に並べて審査し、まず「二科賞」を決定し、続いて「全国知事会賞」と「日本カメラ財団賞」が決まりました。「二科賞」は単写真のカラー作品、「全国知事会賞」は組写真、「日本カメラ財団賞」は単写真のモノクロ作品になりました。この上位3賞の作品は、さらに大伸ばしパネルにして展示されます。

これにて第64回展の一般公募部門の審査はすべて終了しました。どうぞ8月31日（水）から9月12日（月）まで国立新美術館において開催される二科展をお楽しみください。審査員の方々、ご協力いただいた皆さん大変お疲れ様でした。

（事務局長・片岡順一）

■第64回展 一次審査員

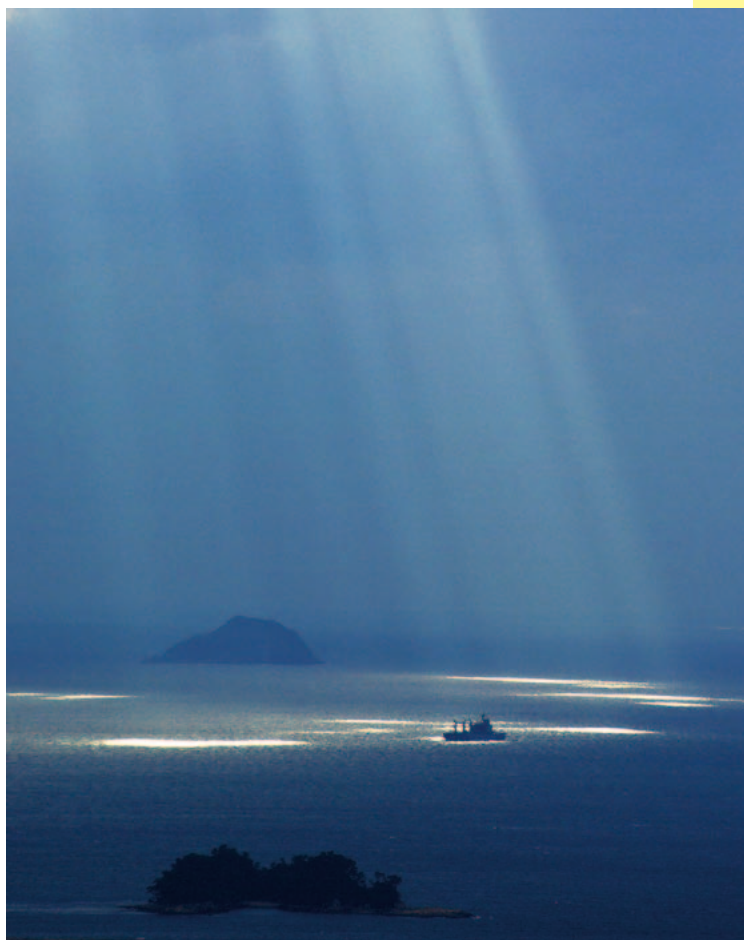
- 審査委員長＝森井禎紹会員（兵庫）
- 審査員＝川本征紀会員（愛媛）、近藤誠宏会員（岐阜）、市川喜久雄会員（愛知）、徳永美奈子会員（福岡）、大山荘一会員（茨城）、樋口幸雄会員（三重）、藤森順治会員（長野）、秋田隆司会員（広島）、鈴木洋一会員（秋田）、佐藤ちえ子会員（山梨）
- 進行管理＝片岡順一会員（神奈川）、天内紀元会員（東京）
- 立会人＝今井寿雄会員（埼玉）、柳原香会員（兵庫）

■第64回展 二次審査員

- 審査委員長＝森井禎紹会員（兵庫）
- 審査員＝近藤誠宏会員（岐阜）、大山荘一会員（茨城）、宗前敏光会員（青森）、関口晴子会員（秋田）、笹川義信会員（宮城）、石原正道会員（東京）、高橋扶臣男名誉会員（千葉）、岩崎充男会員（群馬）、大貫亘会員（茨城）、細川伸吉会員（長野）、辻堅一郎会員（岐阜）、金山正夫名誉会員（富山）、八木富夫会員（京都）、山岡成男会員（兵庫）、前和幸会員（和歌山）、岩下直行会員（鳥取）、中藤章雅会員（岡山）、宮原博美会員（山口）、森住博会員（徳島）、一色龍太郎会員（愛媛）、宮崎喜一会員（熊本）、北野末吉会員（長崎）、竹尾康男会員（宮崎）
- 進行管理＝片岡順一会員（神奈川）、天内紀元会員（東京）
- 立会人＝今井寿雄会員（埼玉）、柳原香会員（兵庫）



九十九島の夕暮れ（撮影：北野末吉）



スポットライトに輝く九十九島の海（撮影：北野末吉）

24 [長崎] 九十九島

九十九島は、長崎県の北松浦半島西岸に連なるリアス式海岸の群島で、全域が西海国立公園に指定されています。複雑に入り組んだリアス海岸と208の島々があり、自然が織りなす変化に富んだ美しい景観が広がっています。日差しの変化とともに刻々と表情を変えます。

秋から初冬（10月～12月）には夕景を目当てに、多くのカメラマンが訪れます。特に晴れた日の夕刻は格別赤く映えて、光る海に島々の間を航行する船の航跡が描かれ、また、空が雲に覆われると、雲間から太陽光が射し込み、そのスポットライトで海が輝きます。自然を舞台にドラマチックな光景が展開します。

＜ガイド＝北野末吉（長崎支部）＞

- 撮影場所：九十九島の大パノラマが見られる展望台（石岳展望台、弓張り展望台、うど越え展望台がベスト）
- 撮影時期：四季折々の自然が楽しめる
- アクセス：JR「佐世保駅」から各展望台まで車で約20～30分
- 問合せ先：佐世保情報センター（TEL：0956-22-6630）

第64回二科会写真部展 入賞・入選者一覧

○二科賞「伊根の夕暮」梶島資次(長崎)
○全国知事会賞「彼岸のころ」朝井章二(鳥取)
○日本カメラ財団賞「老夫婦」佐々木忠吉(石川)

■単写真部門入賞者

- ・トキナー賞「番犬」浦崎正江(東京)
- ・富士フィルム賞「雪の竹林」沼沢麗子(山形)
- ・リコーイメージング賞「疾走」花木義孝(三重)
- ・ケイジェイイメージング賞「噴射」曾我友一(愛知)
- ・エプソン賞「護摩供養」萩野美保子(広島)
- ・ニコン賞「雪の造形」川口靖子(山梨)
- ・DNP フォトイメージングジャパン賞
「怪雲飛来」後藤重行(山梨)
- ・加賀ソルネット賞「光の競演」宮原洋子(山口)
- ・エイエムエス賞「姉妹」山本陽子(大阪)
- ・エターナルラボ賞「見張る。」渋谷俊隆(香川)
- ・カラーサイエンスラボ賞「妖光」高橋純寿(広島)
- ・写真弘社賞「友千鳥」田中勝浩(広島)
- ・トミカラー賞「夜明け」竹内裕子(高知)
- ・フレームマン賞「ふしぎな玉」東島 晋(山口)
- ・プロラボ ホワイトアース賞
「滝すべり」久保純子(福岡)
- ・堀内カラー賞「極光と残雪」稲水 惇(広島)
- ・よしみカメラ賞「落馬寸前」井上良孝(広島)
- ・ラボネットワーク賞「愛情」松岡正明(広島)
- ・フォトコン賞「見守る」福本忠男(山口)
- ・日本カメラ賞「七五三」那須裕一郎(福岡)
- ・アサヒカメラ賞「裸」田村治義(和歌山)
- ・奨励賞「夕礁」平塚幸江(秋田)
- ・奨励賞「おでかけ」牛場寿子(三重)
- ・奨励賞「ウォーミングアップ」服部 進(三重)
- ・奨励賞「採餌」大坂 武(島根)
- ・奨励賞「寒色」堀内正雄(広島)

■組写真部門入賞者

- ・シグマ賞「秋影」小田祐子(大阪)
- ・タムロン賞「グッドナイト」松島 寛(東京)
- ・オリンパス賞「祭の日」内田玲子(兵庫)
- ・キャノン賞「夏の日」塚本芳子(京都)
- ・イーストウエスト賞「光彩」佐藤 玲(東京)
- ・ピクトリコ賞「裏町の思い出」基常忠男(鳥取)
- ・セコニック賞「ローカル線」杉野満夫(高知)
- ・シグマ広島賞「馬の生活」河本美繪子(兵庫)
- ・クリエイト賞「優雅」廣瀬一三(茨城)
- ・フレームマン賞「どんき」吉田亜佐子(兵庫)
- ・堀内カラー賞「海の中」土屋祥子(東京)
- ・ラボネットワーク賞
「ドルポの子供達」高橋 晃(愛知)
- ・フォトコン賞「窓辺」松本壽雄(福井)
- ・日本カメラ賞「米作り」加藤武春(長野)
- ・アサヒカメラ賞「奥能登の冬」古田史昭(岐阜)
- ・奨励賞「家族」磯 繁幸(東京)
- ・奨励賞「雪化粧」増子秀夫(茨城)
- ・奨励賞「明日に向かって」大和章人(徳島)
- ・奨励賞「ピクシー」山本雅敏(徳島)
- ・奨励賞「漕艇」佐藤吉晴(熊本)

■単写真部門入選者

●北海道

箴井敦子
笠原幸三
笠原智恵子
後藤一夫
佐藤静夫
辻 義照
長瀬千鶴子
村田ミチ子

●青森県

泉山 元

●岩手県

太田信子
寺館正美
星 道子
松島哲夫
山下健二

●秋田県

安彦 融
泉谷芳昭
伊藤栄一
大川紀夫
小畑洋一
鎌田淳一
川島康正
菊地光男
杏澤辰雄
熊谷忠浩
高坂節子
小松正幸
小松芳春
齊藤 等
佐藤 彰
須藤秋男
須藤昌子
高橋健一
高橋忠男
濱田格子
門間栄子
山口裕子
奥齊俊雄

●山形県

阿部武司
石澤昭雄
伊藤和男
伊藤義子
加藤孝壽
菊地慶造
斎藤和男
斎藤敏雄
佐藤吉栄
高橋裕子
田中二男
長岡和子
布川貞雄
松本鶴子
矢田目敏弘

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

石毛孝一郎

●茨城県

石島俊一
内田和之
大石美奈都
大垣浩子
大川元通
金谷 登
菊池修典
木村憲太郎
久々湊真一
来栖利枝
後藤勝義
小松いつ子
櫻井 昭
鈴木芳郎
瀬尾繁喜
石井 篤
江口智子
江副洋介
海老沢光治
大山秀雄
鎌木康之郎
佐々木剛一
塩田雄治
高橋政幸
濱野節子
林 有紀
吉満敏夫
渡辺 徹

●神奈川県

岩崎茂樹
内田清一
大江明彦
大森知子
野瀬ゆき子
日高顕治
望月従道
吉村宏人

●千葉県

伊藤 正
木村良男
柴原 連
田島聖一
土橋茂洋
蜂谷直子
藤野治雄

●埼玉県

池田靖子
伊東徹英
井上泰江
榎本喜夫
大野喜久代
郝 麗敏
金子ひろみ
後藤芙美子
桜井孝子
佐々木新
鈴木豊土
高橋 桜
龍澤豊文
檜和田浩一
向山南海子

●茨城県

石井文江
大山京子
富澤健一

●栃木県

■写真集

●松井秀雄写真集

『光と風のコンツェルトⅡ』

大阪支部・松井秀雄会友の作品集。和の感性と洋のエスプリを融合、独自の美意識で紡いだ光と風。

サイズ…250×230ミリ・カラー100ページ。

定価…3240円(税込)・発行…風景写真出版

●今井清博写真集

『四季・めぐり逢い』

大阪支部・今井清博支部員の作品集。日本の四季の中で巡り合った自然や人物の写真を収載。

サイズ…220×210ミリ・カラー46ページ・定価…1500円(税込)・発行…東方出版

●『森井禎紹の地球・ぶらり旅』

兵庫支部・森井禎紹会員の作品集。旅して撮った世界12カ国の写真。

サイズ…240×260ミリ・カラー152ページ

定価…5000円(税別)・発行…ダイコロ



松井秀雄写真集

『光と風のコンチェルトⅡ』



今井清博写真集

『四季・めぐり逢い』

■写真展

●吾妻克美写真展「和奏彩彩」

宮城支部・吾妻克美支部員の個展。

会期…7月1日(金)～31日(日)

会場…仙台市緑ヶ丘 欧風カレーのお店ギャラリー「green ひるず」

会期…9月15日(水)～27日(火)

会場…富士フィルムフォトサロン 仙台

●花の会山梨写真展

山梨支部・佐藤ちえ子会員が出品。

会期…7月14日(木)～19日(火)

会場…山梨県立美術館県民ギャラリーC

●山川常男写真展「浅草歳時記」

東京支部・山川常男会員の個展。

会期…8月2日(火)～8日(月)

会場…ニコンサロンbis 新宿

●「フォトアート Frees展」

山梨支部・佐藤ちえ子会員が出品。

会期…8月23日(火)～28日(日)

会場…山梨県立美術館県民ギャラリーC

●高橋良彰写真展



吾妻克美写真展「和奏彩彩」

「漆黒の闇の幻影」夢の軌跡」

大阪支部・高橋良彰会友の個展。

会期…9月2日(金)～8日(木)

会場…写真弘社 ギャラリー・アートグラフ

●石原正道写真「AMERICAN SOUTHWEST II」

東京支部・石原正道会員の個展。

会期…9月2日(金)～8日(木)

会場…フレームマン・ギンザ・サロンⅠ

●石原京子写真展「ルーマニア・春を迎えた村で」

東京支部・石原京子会友の個展。

会期…9月2日(金)～8日(木)

会場…フレームマン・ギンザ・サロン・ミニギャラリー

●フォトグループ こもれび写真展

東京支部・石原正道会員が出品。

会期…9月2日(金)～8日(木)

会場…フレームマン・ギンザ・サロンⅡ

●米山悦朗写真展「和紙を漉く」



高橋良彰写真展「漆黒の闇の幻影」

東京支部・米山悦朗会友の個展。

会期…9月6日(火)～12日(月)

会場…ニコンサロンbis 新宿

●廿日市4写真クラブ合同展

広島支部・井深壽一会員が出品。

会期…9月7日(水)～11日(日)

会場…はつかいち美術ギャラリー

●東京シティフォトクラブ第16回写真展

東京支部・角尾栄治会員と角尾抽臣子会員による写真展。

会期…9月8日(木)～14日(水)

会場…四谷ポルトレートギャラリー

●第35回ハッセルブラッド・フォトクラブ写真展

東京支部・伊藤陽会友が出品。

会期…10月7日(金)～13日(木)

会場…富士フォトサロン東京

●風の会写真展

広島支部・井深壽一会員が出品。

topic

■「富士フォトギャラリー銀座」オープン

8月20日(土)に、写真愛好家が集う街「銀座」に新しいギャラリーがオープン。3スペースあり、全体で全紙75枚が展示できるゆったりとしたギャラリーです。

住所：東京都中央区銀座1-2-4

サクセス銀座ファーストビル 4F

会期…10月18日(火)～23日(日)
会場…広島県立美術館地下県民ギャラリー

●第2回 鉄田武範写真展「心の視点」

広島支部・鉄田武範会員の個展。

会期…10月18日(火)～23日(日)

会場…広島県立美術館地下県民ギャラリー 第4展示室

●広島花の会写真展

広島支部・野村正信会員が出品。

会期…12月6日(火)～11日(日)

会場…広島県民文化センター 第一展示室

支部情報

●第41回北海道支部展

会期…9月13日(火)～19日(月)

会場…旭川市民ギャラリー(西武旭川店)

●第40回東北地区公募展作品募集

応募資格…東北6県の在住者または出身者

テーマ…自由(単写真に限る) サイズ…白黒・カラー共A4(四ツ切(ワイド四ツ切は不可))

受付…9月1日(木)～30日(金) 応募料…支部員は5点まで3千円、一般は3点まで3千円、共に3点以上は1点500円

●第40回東北地区公募展

会期…11月17日(木)～20日(日)

会場…八戸市美術館

●秋田支部創立40周年記念式典及び祝賀会

日時…10月22日(土) 午後1時

会場…秋田キャッスルホテル

●第16回秋田支部展

会期…10月21日(金)～24日(月)

会場…アトリオン第1展示室

●新潟支部展

会期…11月1日(火)～6日(日)

会場…長岡市美術センター

●第36回千葉支部展

会期…10月25日(火)～30日(日)

会場…千葉県立美術館

●第22回長野支部公募展

会期…11月15日(火)～20日(日)

会場…八十二銀行本店「ギャラリー82」(長野市)

会期…11月23日(水)～27日(日)

会場…茅野市民館市民ギャラリー

●石川支部展・会員会友展

会期…12月14日(水)～18日(日)

会場…石川県立美術館

●静岡支部「秋季写真教室」

講師…沼田早苗先生

期日…11月12日(土) 午後1時

会場…パルシェ会議室 問合せ先…伴野雄三 静岡支部 長090・4232・8067

●第24回岐阜支部展

会期…12月13日(火)～18日(日)

会場…岐阜県美術館一般展示室

展示…40名・全紙約120点

●京都支部展

会期…10月21日(金)～26日(水)

会場…AMS写真館 ギャラリー12

●第3回奈良支部展

会期…10月6日(木)～11日(火)

会場…ギャラリー おやさと(天理市川原城町)

●第38回広島支部公募展作品募集

応募資格…広島県在住者または在勤者

テーマ…自由(単写真に限る)

サイズ…白黒・カラー共A4(四ツ切(ワイド四ツ切は不可))

受付…7月20日(水)～29日(金)

応募料…支部員は無料(3点まで可)、一般は1点1千円(点数に制限なし)

賞…大賞10万円のほか賞金・賞品多数

●第38回広島支部公募展

会期…10月4日(火)～9日(日)

会場…広島県立美術館

会期…11月15日(火)～20日(日)

会場…ふくやま美術館

●第101回二科展広島巡回展

期間…2017年1月3日(火)～8日(日)

会場…広島県立美術館地下県民ギャラリー

●鳥取支部展

会期…7月15日(金)～20日(水)

会場…中電ふれあいホール ギャラリー

●第15回島根支部写真展

会期…7月27日(水)～31日(日)

会場…島根県市町村振興センター

タウンプラザしまね(松江会場)

●長崎支部展覧会

会期…8月3日(水)～7日(日)

会場…石正美術館(石見会場)

●長崎支部展覧会

会期…2017年2月24日(金)～28日(火)

会場…長崎市コクラギャラリー

良き仲間、広島の写真たち

広島の入選者がダントツに多い理由!?

理事 秋田隆司(会員・広島支部)

「第64回二科会写真部展」の一般公募部門の審査が終わり、入賞・入選作品が決まりました。そして審査結果で例年話題になるのが、広島支部の入選者数です。今年もなんと133名が入選しました。

広島県からなぜこれほど多く入選者が出るのか。広島県は特別に写真が上手な方が多くいて優れた作品をつくっているのかというと、決してそのようなことはありません。要は数字の問題、比率の関係です。つまりは応募者数が他県よりずば抜けて多いため、必然的に入選者も多いわけです。支部員以外の方を含め、広島県の応募者は300人を超えています。この他県を圧倒する応募者数は広島県の自慢と言えるのですが、広島支部は会員・会友も多く、支部員も多く所属しています。これは広島支部の会員・会友・支部員の努力の結果と自負を持っています。

まず、初入選された方には、支部への入会勧誘を積極的に行います。広島で開催される二科展の巡回展でも、初入選作品には特別に敬意を表して展示し、展覧会プログラムにも初入選者として紹介されます。また、中国新聞には初入選者の氏名が記事として掲載されます。こうした初入選者への配慮は以前から行っていて、好評を得ています。

現在、広島支部には会員21名、会友23名が在籍、皆さんが支部員への指導など日頃から様々な尽力をされており、創立会員の秋山庄太郎先生がよく言われていた「和を以て尊となす」の精神と、林忠彦先生の「我以外皆師」と言う言葉を常に大切に、謙虚で地道な活動を続けてきたことが成果となって、今日の広島支部があると考えています。

広島は瀬戸内海、中国山地などの素晴らしい自然、近頃の祭りやイベントなど被写体に恵まれています。こうした写真環境で会員・会友がリーダーとなって撮影指導や例会での作画指導を熱心に行っています。

また、本展応募へ向けては、各自が応募作品10点を目標に、支部員限定の勉強会でマンツーマン指導を行います。こうした努力は、これからは継続して行きたいものです。ただ、支部全体が高齢化してきているのは現実であり、今後が懸念されます。

渡部章正先生を悼む

理事 川本征紀（会員・愛媛支部）

名誉会員の渡部章正先生が、今年4月15日に亡くなられました。享年95。ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

渡部先生は松山市の出身で、10代の頃から写真を始め、四国電力に入社してからは、広報誌の撮影のかたわら趣味の写真にも精進され、二科会写真部では第3回展に初応募で特選、会友推挙後の70年には、先輩の原田政章先生（故人）と共に四国二科会写真部を結成。また、第25回全国大会を松山・道後で開催など、四国をアピールする面目躍如の姿を忘れません。定年退職後も会員として後進の指導育成に尽力。自身も多彩な作品を発表され、常に写真家としての輝きを放っておられました。先生の真摯な写真への取り組み方、考え方などから多くのことを学ぶことができ、褒め言葉以上の感謝をしております。

合掌

一般社団法人二科会写真部名誉会員
愛媛県美術会名誉会員

渡部章正名誉会員

information

■ 2016 年度行事予定

- ◎第101回二科展（＝第64回写真部展）
8月31日(水)～9月12日(月)／国立新美術館
- ◎2016 年度夏期定時会員会友総会（出席者は名誉会員・会員・会友）
9月2日(金)／グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
- ◎第64回二科会写真部展授賞式・懇親会（出席者は来賓・名誉会員・会員・会友・入賞者・入選者および同伴者）
9月2日(金)／グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール



「第101回二科展」開催告知チラシ

■ 第101回二科展（＝第64回写真部展）
地方巡回展スケジュール

- ◎大阪展：2016年10月25日(火)～11月6日(日)／大阪市立美術館
- ◎金沢展：2016年11月11日(金)～20日(日)／金沢21世紀美術館
- ◎京都展：2016年11月24日(木)～12月4日(日)／京都市美術館
- ◎東海展：2016年12月20日(火)～25日(日)／愛知県美術館ギャラリー
- ◎広島展：2017年1月3日(火)～8日(日)／

広島県立美術館県民ギャラリー

- ◎鹿児島展：2017年3月3日(金)～12日(日)／鹿児島県歴史資料センター黎明館
- ◎福岡展：2017年3月22日(水)～26日(日)／福岡県立美術館

■ 「熊本地震」へ各支部からの義援金について

- 今年4月14日に発生しました熊本地震では、各地に甚大な被害をもたらしました。（一社）二科会写真部では、全国各支部へ「熊本地震」への支援をお願いし、6月30日現在で下記の支援が行われました。
- ◎神奈川支部＝神奈川新聞厚生文化事業団へ83,419円を4月27日に持参。
 - ◎広島支部＝中国新聞社会事業団へ100,000円を4月27日に持参。
 - ◎京都支部＝日本赤十字社へ10,000円を5月25日に振込。
 - ◎兵庫支部＝神戸新聞厚生事業団へ100,000円を6月3日に持参。
 - ◎長崎支部＝日本赤十字社へ10,000円を6月3日に振込。
 - ◎高知支部＝高知新聞厚生文化事業団へ10,000円を6月7日に振込。
 - ◎宮城支部＝河北新報社総務局へ100,000円を6月13日に持参。
 - ◎山梨支部＝公益財団法人山日YBS厚生文化事業団へ30,000円を6月13日に持参。
 - ◎東京支部＝日本赤十字社へ50,000円を6月14日に振込。
 - ◎宮崎支部＝日赤平成28年度熊本地震災害義援金へ11,000円を6月15日に払込。
 - ◎和歌山支部＝毎日新聞大阪社会事業団へ21,300円を6月20日に持参。
 - ◎愛媛支部＝愛媛新聞熊本地震救援金係へ26,500円を6月23日に送金。

■ 『第64回展二科会写真部作品集』発行

2016年度「第64回二科会写真部展」に展示した、名誉会員・会員・会友及び一般公募部門入賞・入選の総1347作品をオールカラーで収載した貴重な作品集です。巻末に入賞者受賞感想、第1回展から第64回展までの入賞者・会員会友推挙者一覧、名誉会員・会員・会友・入賞者・入選者の作品目録などを掲載。ガンダレカバー並製本・サイズA4判変形（297×225ミリ）・444ページ（カラー392ページ、本文52ページ）。頒布価格15,000円。名誉会員・会員・会友・支部員・第64回展入賞者および入選者は特別価格13,000円。支部員以外の第64回展応募者は14,000円（いずれも送料実費）。

■ 名誉会員・会員・会友情報

亀山榮三会員(岐阜)10月31日自主退会
荒木利純会友(群馬)11月21日逝去
三浦敏雄会友(青森)12月30日逝去
森杉夫会員(岐阜)12月31日自主退会
岩上善厚会員(岡山)12月31日自主退会
大政弘典会員(愛媛)12月31日自主退会
清水久士会員(福井)12月31日自主退会
小倉輝子会友(広島)12月31日自主退会
加藤勝彦会友(埼玉)12月31日自主退会
西野倫子会友(徳島)12月31日自主退会
岡本健一郎会友(京都)12月31日自主退会
小下誠会友(広島)12月31日自主退会
岡本国治会友(山口)12月31日自主退会
宮下賀明会友(山梨)12月31日自主退会
山田進三郎会友(静岡)12月31日自主退会
渡部章正名誉会員(愛媛)2016年4月15日逝去
高山和夫会員(千葉)2016年5月28日逝去